

9月18日からの低気圧に伴う出水により 玉川ダム完成以来2回目となる三山洪水に対応

9月18日からの低気圧による降雨により、玉川ダムではダム完成以来2回目となる三山の洪水(別添「前線に伴う降雨による出水における玉川ダムの効果」参照)が発生し、下流河川の増水を低減させるために「洪水調節」を行い、約2,637万立方メートルの水量をダムに貯め込みました。

今回の洪水調節は、8月までの渇水対応で貯水池の水位が低下していたため、概ね全量をダムに貯め、下流河川の増水・氾濫防止に効果を発揮したものです。

※引き続き、台風15号や前線による降雨が予想されますので、ご注意願います。

1. 洪水調節について(3回の洪水ピーク)

	①18日 1時50分	②18日 8時50分	③18日 15時40分
・最大流入量	216立方メートル毎秒	263立方メートル毎秒	454立方メートル毎秒
・最大流入時の放流量	0立方メートル毎秒	0立方メートル毎秒	40立方メートル毎秒
・調節量(低減量)	216立方メートル毎秒	263立方メートル毎秒	414立方メートル毎秒

※最大流入量＝ダムに入ってきた1秒間の最大の水の量

※最大流入量時の放流量＝1秒間に最大の水の量が入ってきているときにダムから流している水の量

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 玉川ダム管理所

管理所長 千葉 和民(内線:201)

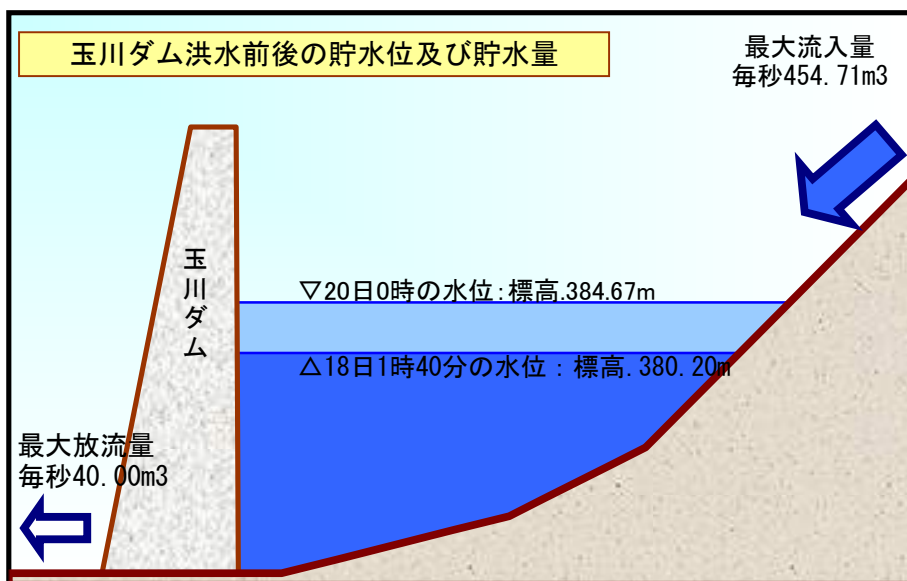
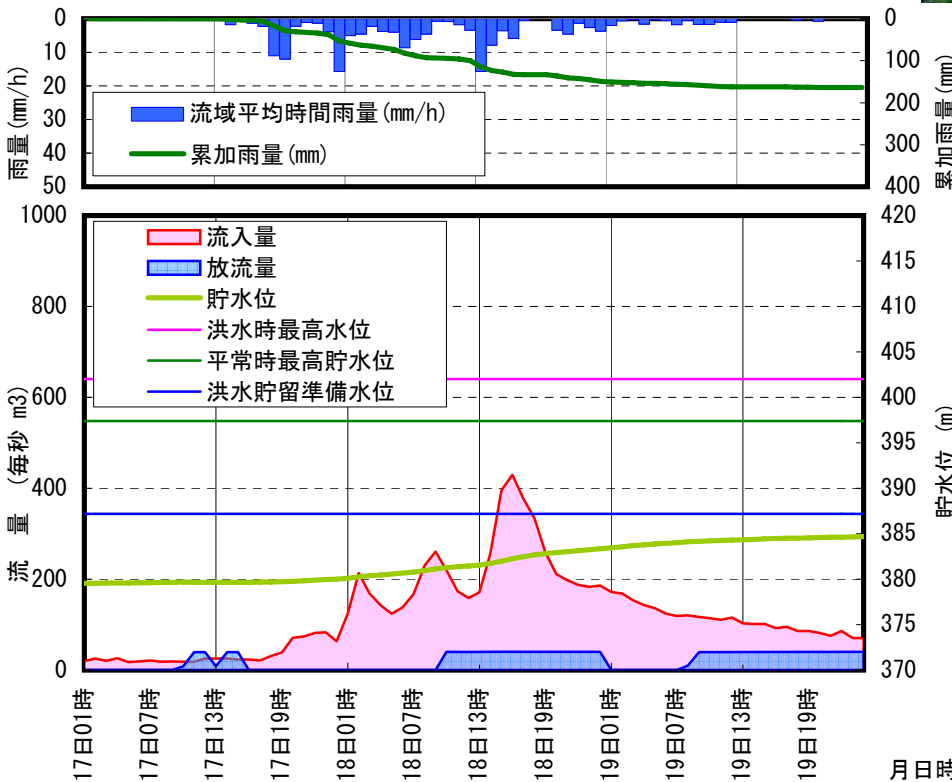
管理係長 千葉 博(内線:332)

〒014-1205 秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無92

TEL:0187-49-2170 / FAX:0187-49-2166

前線に伴う降雨 による出水における玉川ダムの効果

今回の洪水において、玉川ダムでは最大流入量 毎秒454.71m³ (18日15時40分)を記録しました。18日1時40分には洪水量 (ダムへの流入量が毎秒200m³)に達し、洪水調節を開始。約2,637万m³をダムに貯め込み、下流被害の軽減に努めました。



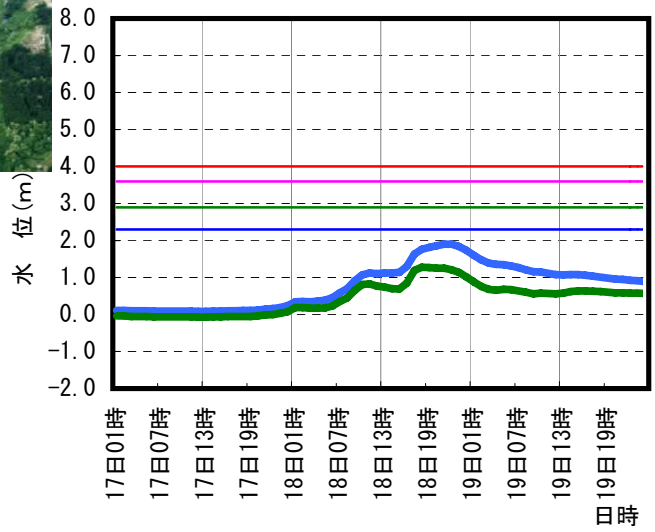
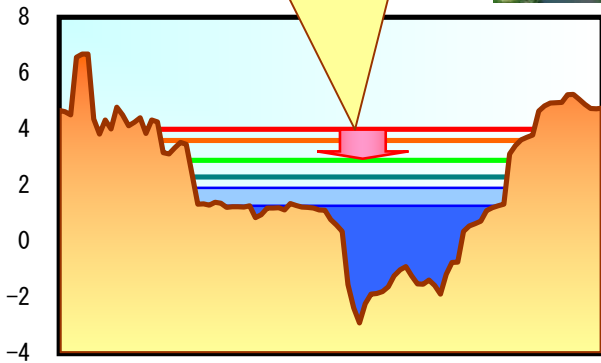
約2,637万m³の水をダムに貯めました

これは、
東京ドーム 約21.3個分 (124万m³)
セリオン 約39個分 (秋田ポートタワー) (約68万m³)
25mプール 約52,740杯分 (約500m³)
に相当します

下流河川での効果量

長野大橋地点(大仙市長野)

玉川ダム・鎧畑ダムの洪水調節効果により、水位が約0.6m低下



比較写真

